

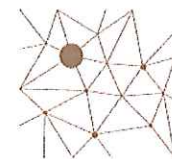


## 回復期機能病床整備事業への参画

---

平成30年2月7日  
佐賀県地域医療構想調整会議 中部構想区域分科会

医療法人 諸隈病院  
理事長 諸隈 強

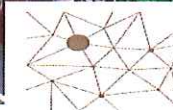


MOROKUMA  
HOSPITAL

# 1. はじめに

諸隈病院：内科・消化器科・循環器科・呼吸器科 救急指定科

一般病床：30床、療養病床：30床



MOROKUMA  
HOSPITAL

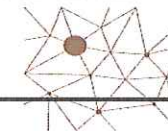






## 2. 病院機能の転換への経緯

- 平成29年3月下旬  
定時理事会において、次の事項を決議
  - ① 事業計画と収支予算の件(事業計画の中に、病院建替計画を明記)
  - ② 医療法人真仁会の新設分割の件
  
- 平成29年9月上旬  
臨時理事会において、「新設分割計画書の策定の件」を決議  
当新設分割計画書(第5項:新設法人の事業計画)に次の事項を明記
  - ① 医療環境の改善を図るため、及び「効率的で質の高い医療提供の体制の構築」に向け、急性期から回復期への病床機能を転換するために、病院の建替新設を行う。
  - ② 病床の機能転換を行う。
  
- 平成29年9月下旬  
佐賀県の回復期機能病床整備事業に申請書(仮)を提出  
なお、新設法人の設立登記後、当法人の理事会の承認を経て、改めて申請する予定である。



### 3. 病床転換の背景

#### 【診療報酬関連】

- ・在宅復帰の促進
- ・後方病床の充実
- ・医療、介護連携の促進



地域の医療機関や介護施設との密接な連携が不可欠

#### 【地域医療構想関連】

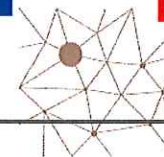
- ・病床機能の適正化
- ・病床削減の動向強化
- ・在宅医療等の需要を考慮



地域に於ける役割の明確化や患者の在宅生活の継続を考慮



「地域」を視野に入れた病院運営が必須となる

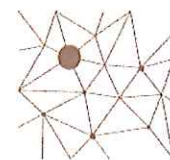




## 4. 今後の予定

---

- 平成30年2月1日  
新設分割の登記を行い、医療法人真人会から諸隈病院の事業に関する権利義務を、新設する医療法人諸隈病院が承継する。
- 平成30年中旬頃(平成31年5～6月頃竣工予定)  
現在の諸隈病院の病院機能の転換、および老朽化への対応として、隣接敷地に新病院を建設し、機能を整備する。(急性期病床を縮小して、回復期病床を増設)
- また、地域医療の役割を果たすため、医療と介護の連携を強化し、有料老人ホーム・通所リハビリテーションなどを併設する予定である。
- 今後の機能は、佐賀県の地域医療構想に沿って「回復期」機能を中心とした医療を地域へ展開する。



MOROKUMA  
HOSPITAL



## 5. 病床転換の計画

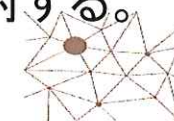
### 【計画案】

		(平成31年度)	
		再編(原案)	
現状	再編(原案)	一般病床 (13対1)	一般病床 (13対1)
一般病床 (10対1)	一般病床 (13対1)	【回復期】 20床	【回復期】 20床
30床	【回復期】 20床	【急性期】 地域包括ケア	【急性期】 地域包括ケア
【急性期】	【急性期】 地域包括ケア	療養病床 I	療養病床 I
療養病床 I	療養病床 I	30床	30床
30床	合計	合計	合計
【慢性期】	【慢性期】 30床	50床	50床
療養病床 I	合計	50床	50床
30床	ダウンサイジング	50床	50床
【慢性期】	ダウンサイジング	50床	50床
療養病床 I	▲10床	50床	50床
30床	▲10床	50床	50床
合計	▲10床	50床	50床
60床	▲10床	50床	50床

### 【検討案】

		(平成31年度)		(平成32年度以降)	
		再編(別案)		再編(別案)	
現状	再編(別案)	再編(別案)	再編(別案)	再編(別案)	再編(別案)
一般病床 (10対1)	一般病床 (13対1)	一般病床 (13対1)	一般病床 (13対1)	一般病床 (13対1)	一般病床 (13対1)
30床	【回復期】 10床	【回復期】 10床	【回復期】 20床	【回復期】 20床	【回復期】 20床
【急性期】	【急性期】 地域包括ケア	【急性期】 地域包括ケア	【急性期】 地域包括ケア	【急性期】 地域包括ケア	【急性期】 地域包括ケア
療養病床 I	療養病床 I	療養病床 I	療養病床 I	療養病床 I	療養病床 I
30床	30床	30床	30床	30床	30床
【慢性期】	合計	合計	合計	合計	合計
療養病床 I	50床	50床	50床	50床	50床
30床	50床	50床	50床	50床	50床
合計	ダウンサイジング	ダウンサイジング	ダウンサイジング	ダウンサイジング	ダウンサイジング
60床	▲10床	▲10床	▲10床	▲10床	▲10床

- 急性期を10床削減し20床とし、回復期(地域包括ケア病床)を30床とする。
- 療養病床 I (30床)は、地域包括ケア病床に転換する。
- 10床ほど縮小し、介護医療院orグループホームなどを検討する。



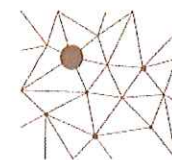
MOROKUMA  
HOSPITAL



## 6.まとめ

---

- 全体的に今後不足が予想されている「回復期」機能の病床を増やし、急性期からの受け皿の機能を拡充する。
- 地域包括ケアシステムの強化を図るため、当病院に「地域医療連携室」を新たに設置し、地域医療体制の連携強化を推進する。
- 今後は、在宅医療の重要度が増すことに鑑み、「在宅療養支援病院」の届出を行い、在宅患者の日常の療養支援や緊急時の対応が出来る支援体制を確保する。
- 以上の取組みにより、医療・介護を一体的に提供できる「地域支援型医療提供」を目指し、当病院の機能をより明確にするとともに、持続可能な医療体制の構築を図る。



MOROKUMA  
HOSPITAL